

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
ふるさとを想う心が未来を拓く		第5章⑤ P. 142, 143	
教科(領域)等	総合的な学習・道徳	学年(分野)	全学年



1. 教材のねらいと概要

大村智先生について知り、大村先生の生き方から自己の生き方を考えさせたい。
大村先生がなぜノーベル賞を受賞したのか、その功績は何か、について記載し、大村先生の生い立ちや人生観を紹介している。

2. 活用例

教科名等	総合的な学習の時間	単元(題材)名等	国際貢献
活用場面		活用のポイント	
大村先生の生き方について知り、自分の生き方について考える。		大村先生の功績について調べたり、人生のターニングポイントはどこか、自分の生き方にどのように生かすか考えさせたい。大村先生の色紙の言葉の意味を調べさせ、自分の座右の銘を考えさせたい。	
			時間 100分

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 142 	どんな薬をどうやって発明したのだろう。	資料を読み取らせるとともに、薬やこの発見・開発の、何がすばらしいのか考えさせたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯地方の寄生虫による失明や皮膚がはれあがる病気の特効薬として、2億人以上の人々を救った。 ・どこに行くにも小さなビニル袋を持ち、土を採集して有効な微生物がいらないか研究し続けた。 ・地道な努力で微生物から薬を開発した。微生物からなので、副作用がほとんどない。 ・企業と連携したことで、持続的な研究開発ができ、その費用をさらなる研究に活用したり、病院を作ったり、地元山梨県の文化活動にも役立てている。
P. 143 	大村先生の書き初めの言葉はどんな意味でしょうか。これからの自分を支える言葉をあなたも考えてみましょう。	言葉の意味を調べさせ、大村先生がどのような気持ちでこの言葉を選び、書いたのか考えさせたい。また、自分の座右の銘を考え書かせたい。	<p>「至誠惻怛」(しせいそくだつ)、誠意をもって人に尽くし、人の痛みや苦しみを慮ることで、物事をうまく運べるものである、という意味。</p> <p>「敬神崇祖」(けいしんすうそ)、神や仏や先祖を敬い、感謝して生きることが大切である、という意味。</p> <p>「実践躬行」(じっせんきゆうこう)、身をもって実際に行うこと。口先だけではいけない、まず行動せよ、という意味。</p>

4. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
「大村 智 2億人を病魔から守った化学者」	中央公論新社	馬場錬成	2012
人をつくる言葉	毎日新聞出版	大村智	2016
大村智博士の一期一会—次代へ つなぐ30の言葉—	山梨日日新聞社		2016